

知的障がいの人が女子高生と違いかけ
てナイフで斬りつけた事件があったじ
やないですか。そんな人を野放しにし
ておくのかと言われたけど、知的障がい
だからではなくて、その背景に問題
があるとは思うんだけど、「知的障がい
の人を野放しにする」という風潮を信
じるのはね。

口屋

法子

寮長

口屋

田中

口屋

殺人事件なんて障がいを持っていない
人の方が多いじゃないですか。たまた
まその部分だけ取り上げてね。
そういうふうな地域社会の異質なものを
排除するようになるのが背景にあるって、
社会的ニースなんだから、という行政
がお金をつけて、お金を稼ごうとして
いる人はそこを深く探しているわけだ
から。

物差しが金になっちゃったんだ。だから
俺は小泉恵一郎っていうんだ。司会
をしている美子なんか俺に注意散漫・
多動・区分がって言うぞ。それに歩き
ハイマー、徘徊ジジイってな。歩きが
そのうちアルツになるって言うてるけ
ど、どっこいそりはいかないぞ。

ボケたら毎日この実の6631223
3に何回も電話しちゃうぞよね。
寮長の支援区分は多分6では収まらな
い気がしますね。

重度加算貰わないとまらないですね。

田中

それでも足りないかも。
そういう職場っていいことでもし
上下なしなんでもん。これがふんぞり
返っていらな。うちには施設長や理
事長の部屋もないし。

口屋

最近消防法と建築基準法が妨げにな
って地域移行が増えていると言われ
ていますね。

寮長

だって普通の暮らしでいいんだもん。
だからHOPさんがよく建てたと思
ってます。

田中

あれは全部、竹田理事長が企画したも
のなんです。

法子

このお店も評判ですよ。やることに
決まっています。また東海大学とかとも関わ
っていますね。

口屋

今あんまり福祉に人が来ないから、実
習に来た学生に「ここは楽しそうな職
場だな」とか「きちんとしてるな」と
か「働いてみたいな」と思わせないと
駄目だと職員に言ってるんですよ。

口屋

そういうことは大事ですね。
あと、アイドルを使って福祉の業界のド
ラマをもやってくれないかなって思っ
ていますよ。若い子が関心持つじゃない
ですか。そういうことってとても大き

いから、誰かがプロデューサーとか知っ
てる人はいないのかな。



寮長

法子

我々のところにいる、障がいの重い
生活の全部を人に委ねないとならない
人生の人達を前にした時に、お金じゃ
ないし、こちらの力を引き出してもら
っていると思うんですよ。むしろ、黙っ
て見ていられないから、話しかけるし、
話かけて何か反応してくれるればそれだ
けで認めてもらえたような、自分でい
いんだというふうなね。

障がい者ではないんですよ。うちの花
崎なんかは個性って言うけども、
「人」なんですよ。大きいとか小さい
とかデブかやせかの違い。人が生きる
意味や働く基本、人生の旅には様々な
エピソードやマナーが必要だろう。で
も彼らが訴えることを多くの所は訴え

田中

させないんですよ。自分たちが指導員だと思ってるんですよ。支援員にはなっていないんだ。自立をさせるだけではなくて、我々が彼らの所へ降りる力がない人はこの仕事は難しい。

衆長

二つち側のいろんなことは鏡として映してくれているんですよ。そこがわかっていない人が多いいんだよね。生き方なんだよ。単なる職業じゃないんだ。俺は右手は自分と義手の為の右手で、左手は他人を幸せにするために付いているんだ。その他の政治家や官僚と戦う手がないといけない。色々手があるわけさ。今の人はそういう手は使わないもんさ。

法子

人が育ってきた生い立ちなんかもあるだろうけど、私なんかの時はまだ特別支援学級もなかったのだから一緒に勉強してたり、もっと重い人たちは家にいて、

田中

すごく覚えてるのは、放課後に毎日学校に遊びに来るおじさんがいたんですよ。学校に行きたくなかったあの人のことをすごく思い出しますね。学校の果たす役割ってすごく大きいんですよ。色々問題はあるかもしれないけど身近にいるって大事なのかなと思えますね。

衆長

それはそうさ。それって今はもつと分けられてきていて障がいのある人に会う機会が、今の若い人たちは前より少なくなってきたりするのはないかと思えますね。

法子

学んだりメディアで見たりということはあるのでしうけど肌身を接するところがないまま生きていくこともあるかもしれない。もう一つ働いていうことの意味っていうのかな。

衆長

生き方なんだよ。そこが単なる職業じゃないわけよ。

田中

今時の言葉になっちゃうんですけど、僕は仕事をライフワークだと思ってるんですよ。仕事から外れて生活の一部としてやろうとは大分前から思ってるんですよ。なんか労働時間とかそんなものに縛られていてはできないですよ。自分のやっていく支援の質が落ちる気がするんですよ。納得するまでやると必然的に時間なんを気に

にならなくなってしまうので。というのは最近では特殊な考え方と思われていきますけど。



法子

私は単純に面白い人を見ていたのなというところがあって、衆長なんかもずっと見ていた(笑)興味があるんですよ。

衆長

俺は福島県の農業試験場を悲惨な暮らしをしてる人にくさん出会ったのさ。三十九年オリンピックの頃だ。その頃に水上勲が「拝啓池田総理大臣殿」を出した。水俣病のことも含めてね。自分の子供がそうなんだよね。重症心身で九州のなんとかっていう施設を皆で力を合わせて作ったんだ。そういう時代があったのさ。

法子

障がいの重い人が入る先もなくして座敷牢のようにして暮らしてた。労働条件も悪くて制度として何にもない時代

田中
があつた。
水俣病の話なんかは僕には教科書の中
の話なんですよ。でも考えてみるとそ
の後の話があるわけで、当然その介護が
発生しますし、症状としては全介助に
近くなったりしていたんでしようかね。

泰長
今の中国と同じさ。かつての四日市の
喘息、水俣病、イタイイタイ病、中国
は日本のケツを歩いてるようなも
んで、でもそういう時代を経て福祉の先
進者はそれなりの考えを採ってやって
きたんだけど、今福祉って言っても
福ってわかるだろう？ 祉は幸せを止め
るって書いてるんだ。だから特殊教
育の先駆者滝先生が言う、人間改場
なんだ。俺は滝先生に「精進の尊を試
めて、ヨダレとすすって、飯は三度食
らって一歩も出るな」と言われたん
だ。この人は何を言ってるんだと思っ
たね。

田中
すごい話ですね。
泰長
そうか、本人から学べってことになっ
て。そして「三十名以上の施設は作っ
てはならない」と
法子
その頃からそういう理念があつたんで
すね。

泰長
自分が傷痍軍人で右手首がないからね。
谷口先生はスポーツ事故で足が太もも
の下あたりからない精神科の医師なん

だ。自分のある方の足に重い障がい見
て乗せて、そして食べさせるの。そ
てそのスプーンで自分も食べるんだよ。
へえーこんな医者がいるものかと思っ
て。それで谷口先生に頼んでそこに入
ったんだけど滝先生が「お前こっちは
来い」とてむりくり俺を引っ張ってき
たわけさ。滝先生は俺の家に一晩泊ま
ったからね。俺を口説くのには。
法子
それだけ先見の明があつたんですね。
こういうふうな時代を作っていく人だ
というね。

泰長
すごい先輩に恵まれたの。俺が三層目
だからね。山下充郎先生とか小池園男
先生とか一層目の人がたくさんいるわ
けだ。二層目は美唄の菊地さんとか生
田原の湯浅さん、緑星の里の森岡さん。
三層目の生き残り俺くらいかな。も
う皆老年退職しちゃってるから。段々
変わってきてるよな。グループホーム
制度については専門官だった中澤健三
さんがほとんどやってたんだけど、あの
頃、岡田喜馬さんがここに来たんだ。
そしておかしいこと言うんだ。「加藤
ハヤブサ特攻隊、後ろ向いたら誰もつ
いてこないぞ」と。それで俺は考え
た。これは誰がついてこなくてもお前
はやれよ、っていう言葉だと俺は思った
んだ。その時岡田さんは冷やかに来

たんでなくて、本気ややるかというこ
とを俺に言つたんだと思ってるね。
すごいポジティブな受け方ですね。
受け取り方を逆に取る人の方がきつと
多いと思いますよ。
法子
もちろん人間と大事にするっていうこ
との繋がりの中ではそういう人たちの
暮らし環境とかに興味がないと。た
だ目の前にお世話をする技術だけ長
けてもいけないんだらうなと思いま
すね。

泰長
福祉施設に勤めているだけじゃなくて、
俺達は世の中全体を変えていくための
社会事業家ではなく運動体を持つ。そ
こが大事な。だから黒澤函蔵さんは
俺達に健全健民、地球は健康でないと
いけない。そういうことを教えたんだ。
民は目的を持っていくってことだ。そ
の職場とかそういう所に生きる。働く

法子
口屋



田中

そういう基本がないと駄目だと。健工
健民。三十六歳で俺が施設長になった
時にこれを考えて、わかった。なごな
ぞが解けてきたと思っただ。この国を福
社を通して健康にするために役割があ
るんだと。だから生き方なんですよ。
単なる飯の種じゃないんだよな。

私はHOPで働いているので障がい当
事者の方のお付き合いが多いですけ
ど、社会運動的な行動が最近減ってき
ている気がするんですよ。私が就職
した頃は一緒にデモ行進とか行ったり
してました。福祉施設に就職して俺
はなんでデモ行進してるんだと思っ
ていたんですけど。西区でもライフと
いう団体が中心になって會道デモ行進
というのをやってたり。HOPでは整平
区で活動を続けていました。そういう
のも最近なくなっていますよ。そ
れじゃ駄目なんだと思いますけど。H
OPで働いて二十年来一緒にやらせて
いたでいていますけど、皆さんご存知
のとおり竹田理事長は本当に重度の障
がい者ですが、私としては全然障がい
のある人という感覚がない。たまたま
会社の上司が車椅子に乗っているだけ
という感覚です。誰よりも介助が必要
ですけど、障がいがある人と考えたこ
とはあまりない人ですね。

田中 寮長

稀な奴だ。北海道には色んな人がいる。
そう考えたらもつと頑張らないといけ
ないですね。竹田理事長たちが在宅の
ヘルパー制度作ってきたりとか、寮長
がブループロムや地域有形を作って
きたりとかしていたんだな。今
後も必要なものを作っていくために勉
強しながら戦っていかないと自分な
んか淘汰されちゃうんじゃないかと思
います。

口屋

北海道には先人に大物と呼ばれる凄
人がたくさんいましたよ。寮長の師
匠にあたる世代がいて、寮長の世代か
いて、これからの若い世代の人がいて、
寮長たちは行政にも訴えるものは訴え
て、押したり変えさせたりしてきたと
思うんですけど、次の世代にそういう人
がいるかといつたりなかなかなさうい
う人はいないですよ。一人ではできな
かったら組むしかないのかなと思います
けど。

寮長

おーまココロニーの大場先生いるだろう。
あの人は滝先生や谷口先生から教えて
もらったのさ。元々あの人は官僚だか
らね。それでおーまココロニーや帯広の
音更晩成園の茂古沼先生の二人が一年
スレて俺の所へ来て「君の事を若し施
設長運が変人だ」って言うたけど実践
家なんだな。って言う話してたいけど

法子 寮長

ね。あの時代を作った人方だから、や
ぱり「人」だ。
財産をすね。
俺は時々言うんだけど、材料の材と書
いて人材、一かしそれには良材と悪材が
ある。存在の在と書いてこれも人材だ
でもその人がいると罪になるという人
罪。ほんとは人の宝と書いて人材がい
ないと駄目なんだと言うのさ。そうい
う人をどうやって育てていくかとい
うことだ。凄く大事なんだ。



次号へ続く